

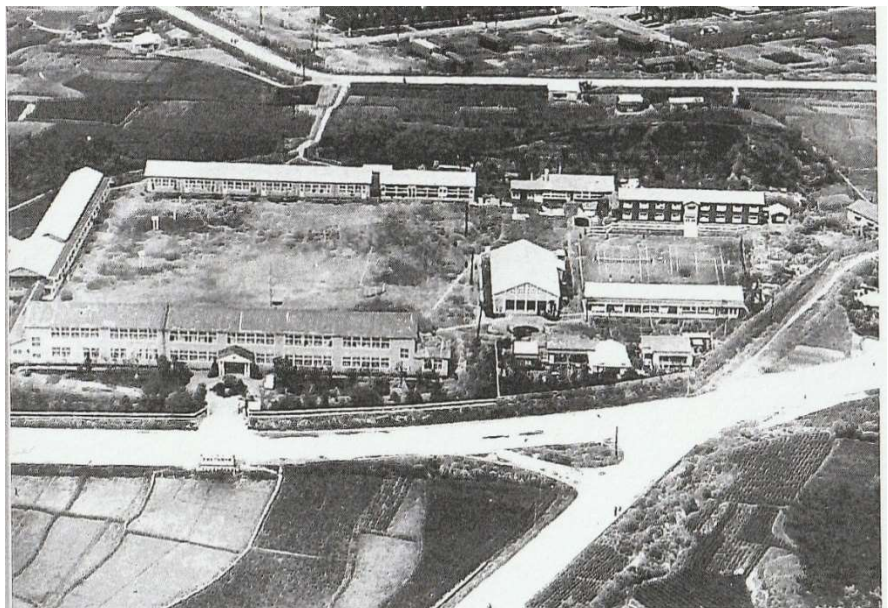
⑦京浜女子短期大学附属幼稚園

(現・鎌倉女子大学幼稚部)1950(S25)～

現在の鎌倉女子大学の前身は、1943(S18)年に横浜市神奈川区に創設された京浜女子家政理学専門学校である。戦後、46年1月、海軍省大船分室のあった現在地(岩瀬1420)を新校地とした。

1950(S25)年3月、京浜女子短期大学の設置認可と同時に、附属幼稚園と高等学校の設置認可も受け、51年4月には幼稚園から短期大学までが同じ敷地内にそろった。さらに57年に4年制大学が認可され、これを機に「京浜女子大学幼稚部」に改称した。

この条件を生かした一貫教育が大きな特徴で、幼稚園児たちも学園内の多様な交流のもとで育まれていった。開園当時は、寮舎の下の2部屋

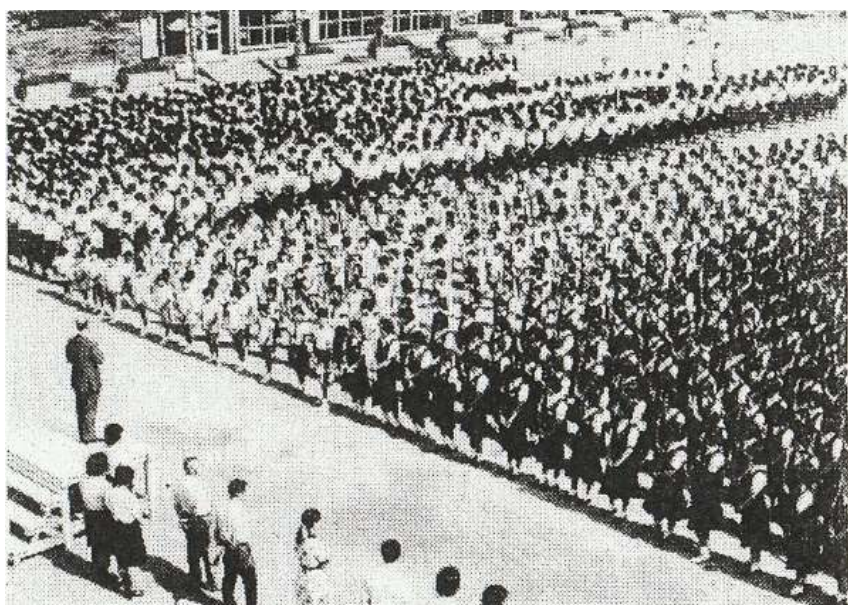


1955年の校舎全景 (『緑苑』27号)

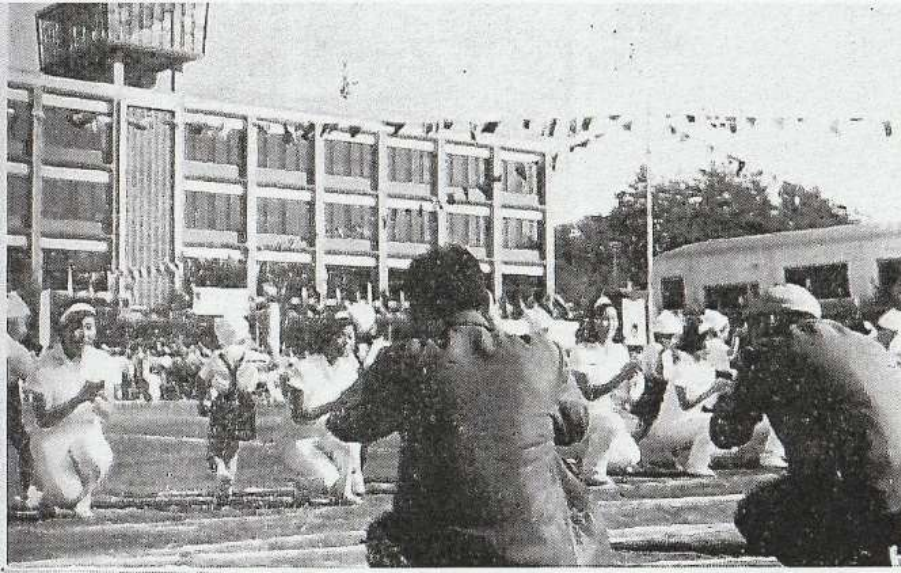
ほどを幼稚園に改造し、「春は陽あたりのよい校庭の一隅で、幼稚園児と中学生が、つくしんぼをつんだり、かくれんぼをして戯れたりして、仲のよい家族のような温い気持の交流」があったという。（『緑苑』1号）

1951(S26)年11月には、幼稚園児から短期大学生までが一緒になって、第一回体育会が開催された。大学生と幼稚園児が手をくんでの遊戯、3歳から20歳までの年齢を結んだりリレーなど、一貫教育の特徴を活かした一大行事として翌年以降も続いた。また、週1回の全校朝礼では全校生が校庭に集合、「修養の鐘」の音を聞きながらの黙想などが行われた。

1982(S57)年に学園が実施した父母へのアンケート調査結果では、幼稚部園児たちの居住地は横浜市戸塚区が110名、ついで鎌倉市の23名であった。志望理由は



1970年頃の全校朝礼（『学校法人「京浜大学」の概要』）



運動会 幼稚園児と大学生とが一緒に遊戯（『緑苑』4号）

「歩いて行ける」
42.4%のほか、
「1クラスが少人数編成」46.8%、
「生活習慣を身につけさせてくれ

る」34.5%、「個性にあった教育をしてくれる」
26.6%など、園の教育内容から選んだとの意見も多く、特徴がうかがえる。（『緑苑』16号）

1989年、元号が平成にかわったのを期に、学校法人鎌倉女子大学へと法人名称を変更、それにともない、幼稚部も鎌倉女子大学幼稚部へと変更になった。

その後、2003(H15)年に大学・短期大学部は大船キャンパス(松竹株式会社旧大船撮影所跡地)に移転、この頃には全学が一斉に集う機会はなくなり、各部独自の活動が中心となっていた。2021(R3)年には岩瀬キャンパスが再整備で校地拡張、幼稚部も絵本コーナーの設置など、環境を充実させている。